

第3回作業部会における市町からの主な意見

【フォローアップについて】

- フォローアップで想定されている「検討の場」は県全体を想定しているのか、それとも圏域ごとを想定しているのか。
 - ▶ それらも含めて、今後検討していく必要があると考える。
- 県の役割分担として「県内の水道に関する情報発信」とあるが、具体的にはどのようなもの（内容や手法）を想定しているのか。
 - ▶ 今後の検討事項となる。なお、第1回検討委員会では「水道料金がどういう風に設定されているのかもっと情報発信してほしい」という意見があったことをお伝えしておく。

【ビジョン素案について】

- ビジョン素案において、行政区域内人口の推計に「山口県人口ビジョン」を採用していないのはなぜか。
 - ▶ 本ビジョンは、中長期的な施策の方向性を示すものであることから、利用可能な最新のデータを用いて推計する必要があると考え、平成30年3月末の国立社会保障・人口問題研究所の推計値を採用した。なお、山口県人口ビジョンは2015年（平成27年）に策定されたもの。

【数値目標の設定の必要性について】

- フォローアップとしてPDCAサイクルが示されているが、水道ビジョンにおける施策の進捗状況を確認するためには、数値目標が必要ではないか。
- 県下一律の数値目標を設定すると、各市町の水道事業ビジョンの施策実現と整合が取れないため、数値目標を設定するのは難しいのではないか（数値目標を設定すべきではない）。
 - ▶ 今回の山口県水道ビジョンは、山口県の水道の理想像と課題に対する実現方策を提示し、大きな方向性を示すものとしたところ。
数値目標の設定については、作業部会でも各事業者の意見が分かれている状況にあることから、今回の水道ビジョンにおいて数値目標は設定せず、今後施策の進捗状況等を踏まえ、必要に応じ、数値目標の設定を検討していくこととしたい。